

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回宍粟市地域包括支援センター運営協議会	
開催日時	令和4年6月23日（木） 13：30～15：00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎4階 401会議室	
議長（委員長・会長）氏名	垣尾会長	
委員氏名	（出席者） 船曳委員、米田委員、井原委員、山田委員、橋本委員、植田委員、中尾委員、志水委員、溝端委員、堀田委員、岸本委員、縣委員、西川委員、前野委員、水谷委員	（欠席者） 平山委員、竹井委員
事務局氏名	（健康福祉部） 橋本部長 （一宮保健福祉課） 前田課長 （波賀保健福祉課） 樽本課長 （千種保健福祉課） 秋久課長 （福祉相談課） 有元課長、栗山副課長、中川理恵子	
傍聴人数	0人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） 4. 協議事項 （1）宍粟市地域包括支援センターについて （2）令和3年度地域包括支援センター事業実績について （3）令和4年度地域包括支援センター運営方針について （4）令和4年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の一部委託について → 承認 （5）令和4年度地域包括支援センターの事業について	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認（記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	課題・発言内容
事務局	1. 開会
健康福祉部長	2. あいさつ 宍粟市地域包括支援センター運営協議会委員委嘱について
事務局	3. 宍粟市地域包括支援センター運営協議会について説明 宍粟市地域包括支援センター運営協議会設置要綱について 宍粟市地域ケア推進会議要綱について 宍粟市地域包括支援センター運営協議会委員紹介 会長・副会長の選出（会長は立候補、副会長は事務局一任で選出）
A 委員	4. 協議事項 (1) 宍粟市地域包括支援センターについて（資料1） (2) 令和3年度地域包括支援センター事業実績について（資料2） (3) 令和4年度地域包括支援センター運営方針について（資料3） オーラルフレイル改善事業について、前年度はコロナで十分にできなかった。令和4年度は宍粟市歯科医師会主催で、いきいき百歳体操などの会場でオーラルフレイルの検査、評価をして介護予防に取り組んでいきたい。 口腔ケアについて、重症の場合や認知症などがあり拒否がある場合、在宅へ行き歯科医、歯科衛生士が指導するがすべてに対応できない場合がある。最初の指導は歯科医、歯科衛生士が行うが、その後家族やヘルパーなど手伝っていただき5分程度で簡単に口腔ケアできるように、みんなに周知したい。 昨年も少人数での講演をしたので、今年度もヘルパーやケアマネジャー、保健師など集めてしていきたい。 また成人期の方の健診が手薄になっているため、節目健診を始めたい。
事務局	宍粟市の歯科受診率は低い。定期的なメンテナンスではなく悪化してからの受診が多いため、一人当たりの医療費が高いというのが宍粟市の特徴。 予防から取り組んでいきたい。 介護サービス事業所として、口腔ケアの取り組みが進んでいると感じている。

B 委員	<p>毎食後、口腔ケア行っている。</p> <p>令和3年度は歯科衛生士に月2回来てもらい、利用者の口腔ケアをしてもらった。</p>
C 委員	<p>KDB システムについて</p> <p>宍粟市国民健康保険、後期高齢者医療にかかっていない人を細かく把握することができるのであれば、本人に対してどのような医療の介入が足りていないのかリストができれば、介入のポイントになるのではないかと感じる。また元気な高齢者が多いと感じる。欠落しているところ探すのではなく、その秘訣、健康である原因を評価するという、良いところを伸ばしていく方向に考えを変えていく視点を持つことが重要である。</p>
D 委員	<p>慢性疾患なら定期的を受診するが、歯科は症状が治まれば、次何かあるまで受診は遠のく。</p>
事務局	<p>(4) 令和4年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の一部委託について(資料4)</p> <p>(5) 令和4年度地域包括支援センター事業について(資料5、6)</p>
E 委員	<p>事業の内容について、介護などの相談窓口について知ることができた。</p>
F 委員	<p>今まで介護を経験してきたが、市にこんなにたくさんの支援事業があることを知ることができた。今後見守りなど自分にできることを考えていきたい。また地域の人にも支援があることを広めていきたい。</p>
D 委員	<p>成年後見制度に関する相談件数が増えている要因は何か。</p>
G 委員	<p>コロナ禍で外出する機会が減り、離れた家族に連絡を取るようになったことで、親の様子の変化に気付くことが増えたためではないかと推測する。制度の認知度が上がっていることも要因ではないか。</p>
H 委員	<p>介護認定率が減少している要因は何か。</p>
事務局	<p>介護認定申請ではなく、チェックリストの実施で利用できる介護保険サービスもあるため、認定率に反映できていないところもある。</p>

I 委員	コロナの影響でデイサービスに行きたくても、行かずに自粛されている方もある。
事務局	宍粟市の 65 歳以上人口は令和 3 年にピークを迎える。地域で困っておられる方を支援できる取組みをしていきたい。 5. その他 6. 閉会